

委員からの主な指摘事項について

国土交通省鉄道局

整備新幹線小委員会(第6回、第7回) 主な指摘事項

とりまとめに当たって留意すべき点	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・需要予測結果の分析を行い、新幹線の整備による旅客流動の変化の特徴を整理してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な地域間の流動を分析した上で、新幹線が担う輸送上の役割を整理する。
<ul style="list-style-type: none"> ・コストダウンや今後の技術開発・新技術の導入による低コスト・高品質化への努力が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備新幹線におけるこれまでのコストダウンや技術開発等の事例を説明する。
<ul style="list-style-type: none"> ・青函共用走行やFGT等、技術的課題を整理すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの投資効果・収支採算性に影響する技術的事項について整理する。
<ul style="list-style-type: none"> ・青函共用走行区間を当面140km/hとするのはやむを得ないが、新幹線の効果を高めるためには速度向上が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青函共用走行区間の速度向上に向けた検討が必要であることをとりまとめに盛り込む。
<ul style="list-style-type: none"> ・FGTについては経緯や代替手段も含め、客観的事実に基づいてどうあるべきかを整理するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の乗換利便性向上の方法との比較や技術開発の経緯、北陸・九州の各新幹線の利用実態と合わせて整理する。
<ul style="list-style-type: none"> ・長崎ルートにおける山陽新幹線への乗り入れの想定の妥当性に関して、世間が抱いている疑問にはしっかり答える必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的な想定であると考えているが、参考として山陽新幹線への乗り入れ設定に関する感度分析を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・他の交通モードとの連携についてもとりまとめに盛り込んでどうか。 ・新幹線が地域に与える機会を生かすには地域の個性や努力が重要であることをとりまとめに盛り込んでどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトの投資効果・収支採算性に関して決定的な影響を与えるものではないものの、事業に関連して考慮すべき事項についてとりまとめる。
<ul style="list-style-type: none"> ・継続的見直しについてもとりまとめに盛り込むことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢や周辺環境等の変化を踏まえた継続的見直しが必要であることをとりまとめに盛り込む。